

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2013年10週 (3月1週 3/4~3/10)

2013年2月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、
風しん・麻しん
病原体検出情報
定点医療機関コメント
インフルエンザ、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎、
溶連菌感染症 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(24)、チクングニア熱(1)、アメーバ赤痢(3)、
クロイツフェルト・ヤコブ病(2)、後天性免疫不全
症候群(1)、先天性風しん症候群(1)、風しん(3)、
麻しん(1)

2013年2月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1) 【1月16日警報発令】

10週の定点当たり報告数は27.27、2013年9週5,305人、2013年10週5,317人(1.00倍)です。2012/2013シーズンに病原体定点から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)及びB型(山形系統、ビクトリア系統)、集団かぜ患者検体よりA香港型(AH3)及びB型(山形系統、ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】“インフルエンザ警報”を発令します!(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/0000057684.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html

2012/13シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri12_13.html

集団かぜの発生について(健康対策課発表)

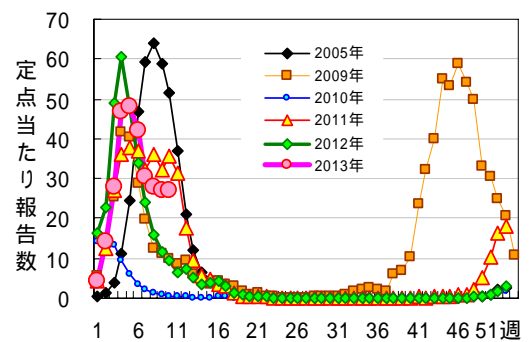


図1 インフルエンザ

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
3月7日	一宮、瀬戸、春日井、津島、師勝、衣浦東部	集団かぜの発生について(2012-2013シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/ichiran.pdf 【参考ページ】 インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/index.html
3月8日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、江南、衣浦東部	
3月11日	一宮、瀬戸、半田、春日井、津島、西尾、江南、知多、師勝、衣浦東部	
3月12日	一宮、瀬戸、半田、豊川、津島、西尾、江南、知多、衣浦東部	
3月13日	一宮、半田、津島、知多、衣浦東部	

風しん(図2)・麻しん

愛知県の2013年の風しん報告数は、3月13日現在36件(男性28名、女性8名:10歳未満1名、10歳代1名、20歳代11名、30歳代15名、40歳代6名、50歳代2名)です。平成24年度の麻しん風しんの第2・3・4期予防接種対象者は、第2期:平成18年4月2日~平成19年4月1日に生まれた者、第3期:平成11年4月2日~平成12年4月1日に生まれた者(中学1年生相当)、第4期:平成6年4月2日~平成7年4月1日に生まれた者(高校3年生相当)です。第3期・4期定期接種対象者の追加措置は平成25年3月31日で終了します。未接種者は早めに接種しましょう。

【参考ページ】麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

疾患別ウイルス検出情報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2013.html

風疹発生動向調査(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/2013pdf/rube13-09.pdf>

「先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策の一層の徹底について」の一部改正について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/130226.pdf>

麻しんに関する特定感染症予防指針(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/241214a.pdf>

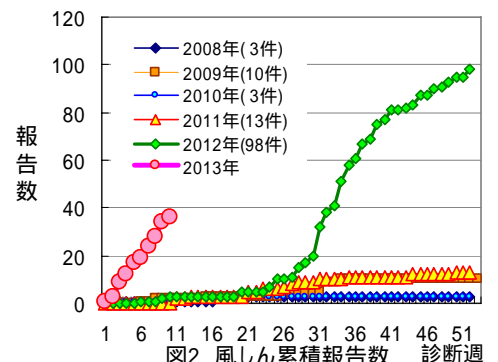


図2 風しん累積報告数 診断週 (愛知県、2008年~2013年10週、3月13日現在)

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

感染性腸炎

ロタウイルス陽性 1歳 3名、3歳 1名
インフルエンザまだ多いです。A型 14名、
B型 26名

【一宮市 あさのこどもクリニック】
インフルエンザ 13名 A型 5名、B型 8名
溶連菌感染症 2名
感染性胃腸炎増加

【一宮市 後藤小児科医院】
ロタウイルス感染症 8名
アデノウイルス感染症 2名
マイコプラズマ感染症 4名

【一宮市 ささい小児科】
インフルエンザ 99名 A型 41名、B型 58名

【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザ A型 3名、B型 2名

【一宮市 水野医院】
8歳男 マイコプラズマ肺炎
インフルエンザ A型 3名、B型 1名

【稲沢市 医療法人野村整形外科】
インフルエンザ 30名 A型 22名、B型 8名
ロタウイルス腸炎 5名

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

インフルエンザA型 22名と減少してきましたが
B型は19名と流行続いています。

【犬山市 武内医院】
インフルエンザ 34名(A型 15名、B型 19名)
感染性胃腸炎増加しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】
インフルエンザ A型 10例 B型 44例と
B型が多くなってきました。
溶連菌も増加しています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
A型インフルエンザ 17名、B型インフル
エンザ 7名

【北名古屋市 田中クリニック】
ロタウイルス 4名 (1歳男、2歳8か月男、
4歳女、5歳女)

70歳男 病原大腸菌(O18)
27歳女 病原大腸菌(O25)
インフルエンザ 19名 (A型 6名、B型 13名)

【清須市 丹羽医院】
インフルエンザA型 8名、インフルエンザ
B型 22名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】
インフルエンザB型 13名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザ A型 9名、B型 11名
(学童はほとんどがB型でした。)

咽頭結膜熱 6歳男
アデノウイルス感染症も目立ちます。
その他流行性耳下腺炎等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
インフルエンザ 24名中、B型 9名でした。

【日進市 おぎす内科クリニック】
インフルエンザ A型 32名、B型 65名
水痘も8人と増加しています。

今シーズンインフルエンザB型に2回目罹患
した3歳児あり

【豊明市 こども元気クリニック】
インフルエンザA型 3名
インフルエンザB型 2名

【長久手市 医療法人水野内科】
インフルエンザが微増しております。ほとんど
がB型です。

【春日井市 かがわこどもクリニック】
インフルエンザはB型が増加、RS感染も
少しずつ見られます。感染性胃腸炎はやはり
ロタウイルスが多く成人例もみられます。

【小牧市 志水こどもクリニック】
感染性胃腸炎続発中 インフルエンザ減少

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザA型 男 3人 女 2人
インフルエンザB型 男 8人 女 10人

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザ 83名 小児 44名、成人 39名
A型 31名、B型 43名とB型が増えてきました。

【小牧市 小牧市民病院】
ロタ腸炎、インフルエンザ続いています。

【春日井市 春日井市民病院】
インフルエンザA 8名 インフルエンザB 8名

【半田市 医療法人林医院】
インフルエンザA型 19名
インフルエンザB型 7名

【南知多町 医療法人大岩医院】
インフルエンザA型 16名
インフルエンザB型 12名

ロタウイルス 9名
インフルエンザ以外で高熱が出るウイルス性
疾患があるようです。

【大府市 まえはらこどもクリニック】
インフルエンザ A型 10名 B型 32名
ロタウイルス胃腸炎 3名(1歳 2歳 4歳)
アデノウイルス感染症(咽頭炎) 1名(6歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】
インフルエンザはB型 17名 A型 8名

【東海市 こいで内科医院】

西三河地区

イムノエースFluA(+) 9名
イムノエースFluB(+) 14名
StrepA(+) 2名
ラピッドテスト ロタ(+) 3名(4歳男、
9か月女、2歳女)
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
マイコプラズマ 女20歳以上 1人
マイコプラズマ 女10歳 1人
【豊田市 わかぞの東洋クリニック】
インフルエンザB型 27人
インフルエンザA・B 1人 8歳男
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザ 陽性
A型 10名
B型 23名
【豊田市 厚生連足助病院】
アデノ 10歳女
インフルエンザ A型 22例 B型 41例
手足口病が一部の保育園で小流行中
【岡崎市 花田こどもクリニック】
インフルエンザ 合計27名
(A型7名 B型20名)
【岡崎市 栗屋医院】
インフルエンザ感染症減少傾向ですが依然
多いです。83%はB型です。ロタウイルス
感染症も目立ちます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

マイコプラズマ肺炎 9歳男
ロタウイルス腸炎が多い
インフルエンザ A型14名 B型31名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザ A型7名 B型33名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
インフルエンザ A型6名 B型21名
マイコプラズマ 6歳男 11歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】
インフルエンザ A型10名 B型7名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
インフルエンザ A型10件 B型19件
【刈谷市 田和小児科医院】
インフルエンザB流行
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザはまだ続いています。(A・B混在)
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザ減少 25名
(A型3人 B型22人)
感染性胃腸炎は依然として流行しています。
【西尾市 山岸クリニック】
インフルエンザ A型8名 B型21名
【西尾市 西尾市民病院】

東三河地区

インフルエンザA型43名、B型20名、
A B同時陽性2名、計65名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
インフルエンザB型少なくなってきました。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザ A型3名、B型8名
【豊橋市 おだかの医院】

ロタウイルス感染症 18名
【豊橋市 医療法人みやざわ小児科】
インフルエンザ A型19名、B型19名
【豊川市 豊川市民病院】
インフルエンザ A型11名、B型28名
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2013年3月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun110905.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2013年10週報告数			2013年総計(1～10週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	15	6	2	145	42	23
豊田市				13	5	4
豊橋市				7	2	3
岡崎市				11	2	4
一宮	1		1	13	4	2
瀬戸	1		1	22	5	6
半田				7	6	
春日井	1			10	3	1
豊川				8	5	1
津島				13	4	6
西尾				5	2	
江南	1		1	10	2	2
新城				2	1	
知多				19	5	7
師勝				4	1	1
衣浦東部	5	2		16	4	3
合計	24	8	5	305	93	63

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

チクングニア熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	知多	21歳	男	インドネシア

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	20歳	女	腸管アメーバ症	性的接触	国内
2	衣浦東部	46歳	男	腸管アメーバ症	経口感染	大韓民国
3	衣浦東部	54歳	男	腸管及び腸管外アメーバ症	その他	スロベニア

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	名古屋市	71歳	男	古典型
2	名古屋市	89歳	男	古典型

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	41歳	男	AIDS	性的接触	国内

先天性風しん症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	瀬戸	0歳0か月	女	その他

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	23歳	男	不明	国内
2	豊川	47歳	男	不明	国内
3	豊川	33歳	男	不明	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	春日井	0歳5か月	女	無	中華人民共和国

2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲。]

2012～2013年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2013年2月			2013年 累計 <愛知県全体>	2012年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	70 (19)	58 (9)	128 (28)	276 (57)	1,937 (485)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (1)
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	163 (59)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	0	1
	A型肝炎	1	0	1	2	7
	チクングニア熱	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	1	2
	デング熱	0	0	0	0	13
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0
	マラリア	1	0	1	2	3
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	6	0	6	12	50
五類 (16)	アメーバ赤痢	6	3	9	12	61
	ウイルス性肝炎	1	0	1	1	12
	内訳					
	B型	0	0	0	0	11
	その他	1	0	1	1	1
	急性脳炎	2	0	2	9	20
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	3	4	10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	2	11
	後天性免疫不全症候群	1	5	6	10	117
	内訳					
	無症候性キャリア	1	4	5	6	74
	AIDS	0	1	1	4	39
	その他	0	0	0	0	4
	ジアルジア症	0	0	0	0	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1
	梅毒	2	1	3	6	38
	内訳					
	無症候	0	1	1	3	21
	早期顕症	2	0	2	3	13
	晩期顕症	0	0	0	0	4
	破傷風	0	0	0	0	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	1	5	5
	風しん	6	11	17	34	98
	麻しん	1	0	1	1	39
	総計	101	80	181	381	2,611

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2013年2月			2013年 累計	2012年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	33	56	89	231	1,620
	性器ヘルペスウイルス感染症	24	23	47	118	709
	尖圭コンジローマ	7	15	22	58	358
	淋菌感染症	12	28	40	99	637
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	59	16	75	177	1,361
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	12	0	12	22	120
	薬剤耐性緑膿菌感染症	3	0	3	6	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

